

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院産婦人科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2015年1月1日 ～ 2017年12月31日の間に、子宮体癌のために虎の門病院産婦人科に入院・通院し、腹腔鏡下手術を受けられた方

【研究課題名】

本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査

【研究の目的・背景】

《目的》

日本国内における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)（腹腔鏡手術もしくはロボット支援下手術）の実態（これまでの実施数、手術適応、手術術式、腫瘍学的予後、どのような施設で実施されているのかなど）を解析し日本の現状を把握します。問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対するMISのより適切で安全な普及を図ることを目的としています。

《研究に至る背景》

子宮体癌に対するMISは日本国内で急激に広まりつつありますが、実施数、実施施設、手術適応、手術術式、腫瘍学的予後に及ぼす影響については不明です。そのため本研究を計画しています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年6月24日 ～ 2024年3月31日

【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 東海大病院産婦人科 吉田浩のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、東海大学医学部附属病院産婦人科へ日本産婦人科学会ホームページ上で匿名化されたデータの送信フォームの送付で提供いたします。

【利用する診療情報】

診療記録（①術式 ②術前診断（組織病理・病期） ③術後補助療法の有無など ④病理結果（脈管侵襲の有無） ⑤再発の有無・再発日・再発場所など）

【研究代表者】

東海大学医学部附属病院産婦人科 吉田浩

【虎の門病院における研究責任者】

産婦人科 ・ 有本貴英

【利用する者の範囲】

日本産科婦人科学会腫瘍登録事業の全施設

https://www.jsog.or.jp/facility_program/search_result_facility.php

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 産婦人科 ・ 有本貴英

電話 03-3588-1111(代表)